

系 統	ウレアウレタン樹脂補強中塗材
特 長	1) 強く伸びる塗膜を形成し連続繊維シートを使用せずにコンクリートのはく落を防止する。
用 途	1) SBトフコートF工法、SBトフコートAU工法の補強中塗材 首都高速道路(株)橋梁構造物設計要領(コンクリート片剥落防止編)はく落防止工 同等
配 合 比	主 剤 : 硬化剤 = 10 : 3 (重量比)
荷 姿	13kgセット (主剤/10.00kg、硬化剤/3.00kg)
外 観 性 状	主 剤…灰色パテ状 硬化剤…淡黄色液状 混合物…灰色パテ状

可 使 時 間

タ イ プ	冬 用 (W)		夏 用 (S)	
温 度 [°C]	5	15	20	30
可使時間 [分]	30	20	20	15

※2回で1.8kg/m²を塗布する。2回目は、1回目に塗布した塗膜が乾燥していることを確認してから塗布する。
紫外線により塗膜が黄変し、付着力が低下する場合がありますので、塗装間隔には、十分に注意する(塗装間隔は、塗装仕様書の参照をお願いいたします)。

比 重	1.20~1.50 (混合物液比重)
標準使用量	1.8 kg/m ² (0.9kg/m ² ×2回塗布)
貯蔵保証期間	6か月 (未使用、冷暗所保存)
消防法による区分	主 剤 指定可燃物 可燃性固体類 硬化剤 危険物 第4類 第4石油類
使用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) コテ、ゴムベラなどで塗布する。2回に分けて1.8 kg/m ² を塗布する。
使用上の注意	1) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 2) 接着面の表面処理を十分に行う(汚れ、水分の除去)。 3) 使用する前には、必ず主剤を攪拌する(液状分が分離する場合があります)。 4) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 5) 攪拌不良防止のため、一度攪拌したものを別の缶に移し変えて再度攪拌する。 6) 混合攪拌後すみやかに塗布し、可使時間内に塗布作業を終了する。 7) 硬化剤は、空気中の水分と反応します。開封後は、早く使い切ってください。

⚠ 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。 |
|---|